



船中便り

柴田町立船岡中学校

TEL 0224-55-1162 Fax 0224-55-5444

〒 989-1606 柴田町大字船岡字七作 26

(mail) info@funaoka-jhs.shibata-town.ed.jp

R4.10.7発行 かしこく やさしく たくましく

学校二学期制 第1学期終了

少し短い夏休みが明け、9月は1学期を締めくくる大きな行事として、3年生の修学旅行、2年生の職場体験、1・2年生が主体の郡新人大会が行われました。下に行事での一コマを紹介すると共に、1学期終業式での校長式辞(一部抜粋)を紹介いたします。

4月の始業式から101日間の授業日を経て、今年度から始まった2学期制の1学期が終了します。1学期を振り返ると、どの学校行事もコロナ感染防止に留意し、滞りなく行うことができました。3年生は修学旅行を通して東京の文化や歴史を、2年生は職場体験を通して様々な職業の奥深さや働くことの意味を、1年生は自然体験を通して松島の自然や震災に関する防災を、体験活動を通して学んできました。

1学期の始業式・入学式で、船岡中学校の校訓「英知」「気品」についてお話ししました。3つ目の校訓は「活力」です。活力とは「夢の実現に向け新たなことに挑戦すること」を意味しています。皆さんはどんな夢を持っていますか。夢の実現に向けて行動を起こし、挑戦するエネルギーこそが「活力」なのです。

夢の実現について、ひとりの人を紹介したいと思います。今年の修学旅行で原宿・渋谷の街並みを見たとき、隈研吾さんという建築家が思い浮かびました。昨年の東京オリンピックの新国立競技場を設計し、全体はだ円形のやさしい丸い形で、ひさしには日本全国の県の木が使われ、その上には草花も植えられています。自然を生かし、周囲の環境に溶け込むようなデザインは隈研吾さんの建築の特徴です。

隈さんが小学5年生の1964年、戦後初めて日本でオリンピックが開催され、丹下健三さんという建築家が弓なりの曲線によるダイナミックな屋根が特徴の代々木競技場体育館を設計し、原宿駅近くに建設されました。隈さんは小学生のとき、この代々木競技場を見て感動し、自分は将来、建築家になると決心したのです。そして、奇しくも2回目の東京オリンピックの競技場を自分が設計することになりました。

若いときに感動する体験こそが「夢をつくる」きっかけになると改めて思います。船中生の皆さんには、これからも本物に触れる機会を持ち、心揺さぶられる体験を存分に味わってほしいと願います。それが夢の実現に向かう「活力」を生み出すように思うのです。今日、通信票が渡されました。通信票は担任の先生からの心の贈り物です。そこにある言葉をしっかりと心で受けとめ、夢や希望、新たな目標を抱いて2学期を迎えてほしいと願います。



9/13~15 東京方面修学旅行 ディズニー、キッザニア、ホテルバイキング、お台場 の一コマ



9/13~14 2学年職場体験学習 の一コマ お忙しい中事業所の皆様のご協力に感謝いたします



新人大会激励会の一コマ 学年激励会では試技発表もありました

